

信用金庫のカードローン等残高の動向

信金中央金庫 地域・中小企業研究所 上席調査役

とね かずゆき
刀襦 和之

(ポイント)

- 全国信用金庫の2013年度末のカードローン等残高は、前期比115億円、2.1%増の5,441億円となった。2014年6月末まで4四半期連続で前年同期を上回って推移している。
- 地区別のカードローン等残高は、東北、南九州などの7地区で前期比増加した。貸出金に占める割合は、四国が3.2%となり、東北の2.7%、南九州の2.3%が続く。
- 信用金庫別のカードローン等残高は、前期比増加が158金庫（構成比59.1%）、前期比減少は106金庫（39.7%）であった。前期から10%超残高が増加したのは57金庫に達した。
- 信用金庫別の貸出金残高に占める割合は、①1.0%未満が130金庫（構成比48.6%）、②1.0%以上2.0%未満が84金庫（31.4%）、③2.0%以上は53金庫（19.8%）であった。
- 2013年度末の個人向け貸出（全体）の残高は、前期比2,557億円、1.4%増の18兆5,074億円となった。このうち8割強の15兆4,610億円を住宅ローンが占める。

1. カードローン等^(注)残高の動向

全国信用金庫の2013年度末のカードローン等残高は、前期比115億円、2.1%増の5,441億円となり、前年度のマイナスから増加に転じた（図表1）。

貸出金残高が伸び悩むなか、個人顧客に対する推進策としてカードローン等を強化する信用金庫が増えている。一般にカードローン等は、企業向け貸出に比べ貸出金利回りが高いため、貸出金利息確保の面から取り組む信用金庫も多い。そのため、2014年6月末のカー

ドローン等残高は、5,376億円となり、前年同期を4四半期連続で上回っている。

2. 地区別のカードローン等残高

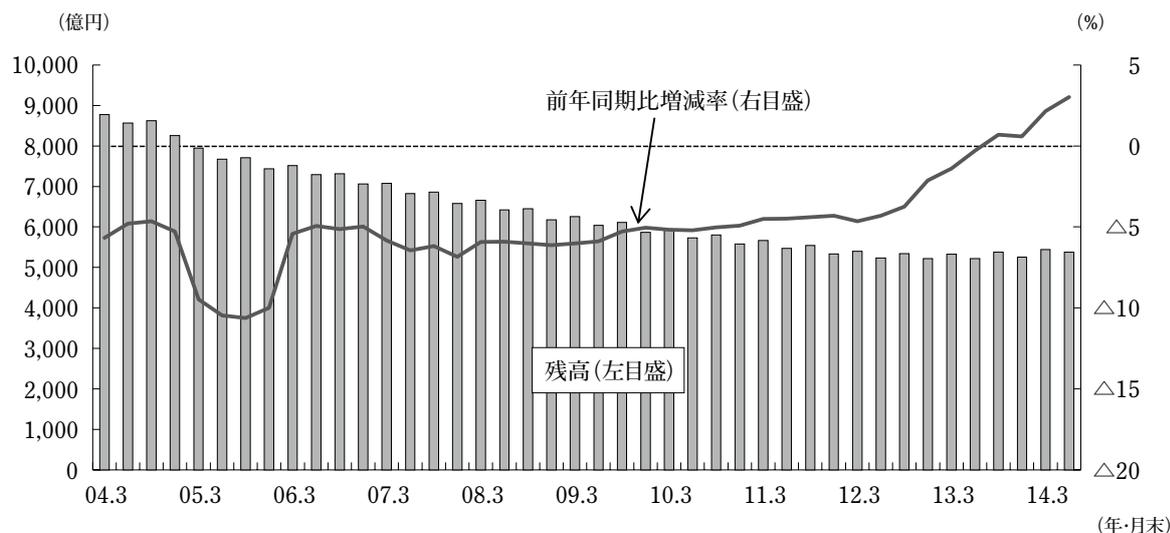
2013年度末の地区別のカードローン等残高は、7地区で前期比増加し、4地区で前期を下回った（図表2）。

増加した地区では、東北が7.0%増となったほか、南九州（5.9%増）、九州北部（5.3%増）の増加が目立つ。一方、減少した地区では東京が2.3%減であった。

貸出金残高に占めるカードローン等の割合

(注). カードローン等は、カードローン（当座貸越方式）、応急ローンおよびカードキャッシング

図表1 カードローン等残高の推移



は、四国（3.2%）が最も高く、東北（2.7%）、南九州（2.3%）が続く。最も低い東京の割合は0.2%にとどまる。

2003年度末と比較すると、全11地区でカードローン等の残高が減少した。減少率では東京が55.5%減に達する。また、減少額をみると、関東（798億円減）と近畿（696億円減）の2地区で500億円を超えた。

3. 信用金庫別のカードローン等残高

(1) 前期末からの変化

2013年度末の信用金庫別のカードローン等残高は、158金庫（構成比59.1%）で前期比増加、106金庫（39.7%）で前期比減少し、増加金庫が減少金庫を上回った（図表3）。

また、残高が10%超増加したのは57金庫

図表2 地区別のカードローン等残高

(単位：億円、%)

地区	03年度末		12年度末		13年度末		03年度末対比		12年度末対比		14年6月末
	貸出金に占める割合	残高	貸出金に占める割合	残高	貸出金に占める割合	残高	増減率	増減額	増減率	増減額	
							増減率	増減額	増減率	増減額	
北海道	348	1.1	198	0.6	195	0.6	△ 43.9	△ 152	△ 1.5	△ 3	193
東北	754	3.1	559	2.5	598	2.7	△ 20.6	△ 155	7.0	39	606
東京	792	0.6	361	0.3	352	0.2	△ 55.5	△ 440	△ 2.3	△ 8	343
関東	1,726	1.4	897	0.7	927	0.7	△ 46.2	△ 798	3.3	29	924
北陸	339	1.8	205	1.2	207	1.2	△ 38.9	△ 132	0.8	1	204
東海	1,216	1.0	800	0.6	823	0.6	△ 32.3	△ 393	2.8	23	816
近畿	1,741	1.4	1,037	0.7	1,044	0.7	△ 40.0	△ 696	0.7	7	1,018
中国	649	2.1	424	1.4	419	1.4	△ 35.3	△ 229	△ 1.1	△ 4	413
四国	499	4.6	327	3.2	323	3.2	△ 35.1	△ 175	△ 1.2	△ 4	307
九州北部	244	2.1	160	1.3	168	1.4	△ 31.1	△ 76	5.3	8	171
南九州	452	2.9	321	2.2	340	2.3	△ 24.6	△ 111	5.9	19	339
合計	8,776	1.4	5,326	0.8	5,441	0.8	△ 37.9	△ 3,334	2.1	115	5,376

(備考) 1. 他業態との合併等は考慮していない。
2. 沖縄県は合計に含む。

図表3 信用金庫別のカードローン等残高の増減状況（12年度末→13年度末）

（単位：金庫、％）

増減状況	金庫	構成比
増加	158	59.1
（うち5％超増加）	102	38.2
（うち10％超増加）	57	21.3
増減なし	3	1.1
減少	106	39.7
（うち5％超減少）	54	20.2
（うち10％超減少）	16	5.9
合計	267	100.0

（備考）取扱いなしは「増減なし」に含む。

（構成比21.3％）、10％超減少したのは16金庫（5.9％）であった。

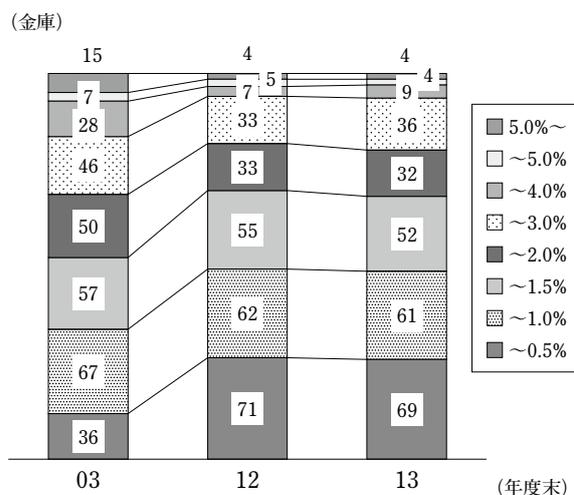
なお、2013年度中に貸出金利回りが改善（上昇）した信用金庫は8金庫あったが、そのうち4金庫でカードローン等残高が増加している。

（2）貸出金残高に占める割合の変化

2013年度末の貸出金に占めるカードローン等残高の割合は、①1.0％未満が130金庫（取扱いなしを含む。構成比48.6％）、②1.0％以上2.0％未満が84金庫（31.4％）、③2.0％以上が53金庫（19.8％）であった（図表4）。

2003年度末と比べると、0.5％未満の割合が、11.7％（36金庫）から25.8％（69金庫）

図表4 信用金庫別の貸出金に占めるカードローン等残高の割合



に倍増した一方で、5.0％以上の割合は4.9％（15金庫）から1.4％（4金庫）に低下している。

4. 信用金庫の個人向け貸出

2013年度末の全国信用金庫の個人向け貸出金残高は、前期比2,557億円、1.4％増の18兆5,074億円に達した。個人向け貸出は2年連続で前期を上回っている。

内訳をみると、全体の83.5％を占める「住宅ローン」が前期比2,455億円、1.6％増となり、前年度（0.8％増）の伸び率を上回った。また、「その他」は前期並み（13億円減、0.0％減）の2兆5,022億円となった。

信用金庫別の個人向け貸出金残高の増減状況は、前期比増加が148金庫（構成比55.4％）、前期比減少は119金庫（44.5％）であった。